

BULLETIN OF THE KUMAMOTO WILDLIFE SOCIETY



No. 10

Dec. 2020

THE KUMAMOTO WILDLIFE SOCIETY

<http://www.kumayaken.org>

熊本野生生物研究会誌

第 10 号

目 次

序 熊本野生生物研究会会長 坂田 拓司

原著論文

長尾 圭祐, 安田 雅俊, 吉田 洗貴, 田島 裕也, 梅林 文哉, 城 要, 安田 樹生:
熊本市南部の雁回山におけるアライグマの生息状況と自動撮影カメラで記録された野生動物 …… 1

短 報

和田 英敏, 松井 英司, 松井 謙弥, 本村 浩之:
熊本県菊池川および唐人川から得られたカライワシ仔魚の記録 …… 9

船越 公威, 前田 史和:
天草市大江沖合の岩礁「大ヶ瀬」に生息するオヒキコウモリ *Tadarida insignis* の初記録と
同市大江向の「伏魔洞」に生息するコウモリ類の若干の知見 …… 13

前田 史和, 坂本真理子, 天野 守哉, 歌岡 宏信, 船越 公威:
熊本県におけるヒナコウモリ *Vespertilio sinensis* の出産哺育集団の初確認 …… 19

資 料

林田 創, 藤井 法行:
熊本県緑川水系におけるボウズハゼ *Sicyopterus japonicus* (Tanaka, 1909) の記録 …… 27

長峰 智, 天野 守哉:
熊本県芦北町及び水俣市境界の大関山における巣箱自動撮影法によるヤマネ *Glirulus japonicus* の
生息確認 …… 29

坂田 拓司, 天野 守哉, 坂本真理子:
熊本県内10地域における巣箱と自動撮影カメラによる樹上性哺乳類の調査 …… 33

天野 守哉:
熊本県宇城市の人工洞を利用するコウモリの月ごとの個体数変動 …… 45

35周年特別企画 会員寄稿エッセー 「熊本野生生物研究会と私」 …… 49

会 記

中園 朝子:
熊本野生生物研究会の歩み その7 …… 59

投稿規定 …… 65

会 則 …… 67

編集後記 …… 68

2020年12月



熊本野生生物研究会

<http://www.kumayaken.org>

序

熊本野生生物研究会 会長

坂 田 拓 司

2020年は新型コロナウイルスによるパンデミックが発生した年として、歴史に刻まれることになるでしょう。2019年11月に中国でその発生が確認され、瞬く間に全世界に拡がりました。社会に及ぼした影響は計り知れません。このことは、我々「ヒト」が地球上に数多く存在する生物の一種であり、「特別な存在」ではないことを突きつけました。また、自然界・生態系の一部であり、他の生物やウイルスなどに「打ち勝つ」のではなく「共存」する運命にあることを改めて示しました。

コロナ感染を防ぐための社会的要請は、私たちの活動にも大きな影響を与えました。会員諸氏はまずは家庭や学校、職場等における感染防止の取組みに追われました。また、発表会や研修、会議なども開催が困難となりました。私たちはどのようなスタンスで調査研究や環境教育に取り組めばいいのでしょうか。このような場合、原点に立ち返ることが重要でしょう。本会は熊本県内における野生動植物を対象として、その分布や生態などについて調査研究を行い、その成果を環境保全や環境教育に結びつけてきました。その過程で会員同士のゆるやかな、かつ緊密なコミュニティを築いています。つまり「熊本の自然や文化・歴史に根ざした調査研究活動、これからの環境教育や生物多様性保全につながる活動、それを支える会員間のコミュニケーション活動」が原点ではないでしょうか。この原点をつねに振り返りながら、そして時代の変化や要請に柔軟に対応すれば、自ずと道は開けると思います。

この会誌10号では今年度の調査研究の成果がいくつか報告されています。これらはコロナ渦の中でも継続されている地道な調査活動の結果です。また、設立35周年特集として会員の皆様に本会の活動に関係するエッセイを募集し、19名の方から投稿いただきました。その多くは本会活動の原点に関わる内容になっています。是非お読みいただいて、会員相互の思いを共有して下さい。

2020年度第29回くまもと環境賞表彰において、本会は「永年活動表彰」を受賞しました。受賞理由は「野生哺乳類に関する県内唯一の調査団体として、調査の成果を会誌や本の出版などを通して情報提供している。絶滅危惧種や特定外来生物の生息状況を把握し、その対策に講じるとともに、行政への提言も行っている。」です。一方、生物多様性に関する県内の最近のできごととして、特別天然記念物カモシカの激減、特定外来生物アライグマの分布拡大やクリハラリスの防除など、本会が直接的に関わる課題があります。また、県南における複数の風力発電計画や川辺川ダム建設復活などの気になる事象も矢継ぎ早に起きています。これらの課題の解決に向けた基礎資料の提供もこの会誌は担っています。会員諸氏におかれましては本誌の充実に向けて、積極的な投稿をお願いいたします。

2020年12月吉日